

くじらがし いけ 4月号

しづはた営農経済センターだより

静岡市葵区下 1459-1 ☎294-9330

センター長	茶	茶・有害鳥獣	野菜・水稲・苺	果樹・有害鳥獣	女性部	購買
伊藤	佐藤	武田	松尾	原田	漆畑	市川・萩原・池田
配送	加藤・長谷川		大河内地区担当	滝浪	梅ヶ島地区担当	望月

《茶》1番茶生産開始 市内全域で例年より早いスタート

しづはたブロックだけではなく市内全域で茶の生産が早く開始。早場所・遅場所について順調に生育しています。大幅に摘採が早くスタートしています。今後、摘採遅れによって硬葉化が顕著に目立つと荒茶価格に厳しく反映しますので、茶園巡回をし計画的な摘採を行いましょう。

摘採…自分の摘採計画よりも2日～3日早い摘採を心掛けましょう

- ポイント① 茶園の生育が平年と違うので圃場巡回をし、摘採計画をしっかりとる。
- ポイント② 手摘みの際に傷葉、古葉や赤棒等が混入しないよう注意する。丁寧な摘採
- ポイント③ やぶきたは適期浅刈をし、品種は必ずミル芽摘採に努める。
- ポイント④ 1番茶芽の生育スピードは早いので、刈り遅れにならないように！！

※ 茶商の需要に合わせた摘採・製造に努めましょう。

◆ 防除 農薬散布後は生産履歴の記帳に努めましょう！！

【1茶前】⇒摘採までの日数を注意する。ダニの発生が多発する圃場には
ミルベノック乳剤(7日)1,000倍 又は 劇コテツフロアブル(7日)2,000倍

【1茶摘採後】

- ◎ アカダニ・サビダニ → 劇アグリメック(7日)1,000倍 単用
- ◎ トゾムシ・ウカ・スリップス →

【チャトゲコナジラミ】冬季・1茶前に防除できなかった方は、必ず防除しましょう。

- ・時期…成虫が発生終期の5月下旬(クワシロカイガラムシと同時防除)
- ・薬剤…劇ハチハチ乳剤 1,000倍 14日
- 又は
- アプロードエースフロアブル 1,000倍 14日

※チャトゲの卵・幼虫は茶園スソ部にいます。茶園スソ部を重点として薬剤散布を行う

【クワシロカイガラムシ】散布時期の判断がつかない場合は営農センターまで相談

- ・時期…5月下旬～6月上旬 散布量 → 10a当たり 1,000羽
- ・薬剤…劇スプラサイド乳剤 1,500倍 14日
- 又はアプロードエースフロアブル 1,000倍 14日

【2茶萌芽期】

- 炭そ病・もち病 オンリーワンフロアブル 2,000倍
- ウンカ・スリップス ウララDF 1,500倍 混用 7日

※別途、ツマグロアオカスミカメの発生が予想される茶園について

- スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 7日

- ◆ 施肥 灌水施設がある茶園では、しっかり灌水しましょう！！肥料の効果UP
 - ・1茶芽出肥2回目 摘採20日前 化成又は硫安 3袋/10a
 - ・2茶肥が1回の場合 → 2茶摘採30日前に施用する 化成 4袋/10a (1茶摘採15日後)

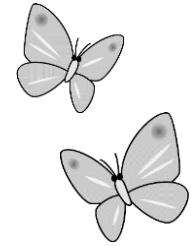
◆ 整枝

- ・時期 → 摘採後、7～10日遅れ芽が出し切った頃 (ミル芽摘採した茶園は約14日)
- ・深さ → 1茶摘採面、遅れ芽を除く程度に浅く摘採面を整える。

◆ 更新(中切り・台切り)

枝が細く古くなると、出てくる芽は、より細く弱い芽になります。当然、生葉や荒茶の品質も同様に悪くなります。更新作業を行う事によって、太く健全な芽や枝に若返りを行い良質な生葉生産を行いましょう。

- ・時期 1番茶終了後ただちに(5月下旬～6月最上旬)
- ・整枝位置 地際から50cm程度(分枝が多く細い枝は必ず落とす。)



荒茶共販出荷者の方へ

茶園管理作業等でお忙しい時期ですが、施肥・防除管理終了後、ただちに作業記録用紙に記帳し、最寄りの農協までご提出をご協力をお願いします。

提出期限 最終防除終了後早めにご提出をお願いします。

※ 製造記録用紙は荒茶出荷時に提出をお願いします。

提出先 しづはた支店・大河内支店・梅ヶ島支店

※ 共同工場は各組織ごとに栽培日誌の取りまとめをお願いします。



※農協共販では荒茶出荷時前までに生産履歴の提出が必要となりますので、必ず提出にご協力下さい。未提出の方については荷受けができません。

○野生鳥獣被害防除事業補助金申請について○

※ 電気柵などの防護柵でイ/シ/シカ/サルなどから農作物を守りましょう！

- ・申請受付開始日 4月23日(月)～ 予算繰越次第しめきり
- ・受付先電話番号 静岡市 中山間地振興課 (054-294-8807) 担当 竹内

- ① 補助事業を利用したい組合員は最初に「市役所 中山間地振興課」へ直接電話をお願いします。
- ② 市から申請した組合員宛てに郵送または手渡しで申請書類が渡されます。
- ③ 申請書が届いたら防護施設の見積を依頼、農協経由へ市に申請書を提出
- ④ 「個人」への助成はH25年度～H29年度に申請し、助成を受けている方は対象になりません

《いちご》 【育苗の推奨スケジュール】

栽培指針では12月頭に収穫する場合、9月中旬には定植、4月上旬には親株定植が終わっている予定。

◎ 低温暗黒育苗指針（9月中旬定植を目指す） 室温12℃程度

親株定植 → ポット受け 切り離し ※低温暗黒処理 順化 → 定植 →

3月～4月 - 6月上～7月上 - 7月下 - 9月1日～14日 - 2日間 - 9月中旬

※きらび香はランナーの出が特に悪いので、早めに親株を定植する。

☆親株の肥料管理：緩効性の肥料を施す

（IBS1：6～8粒程度/株20日毎、または宇部ポット特号大粒3個/株30日毎、

又は宇部ポット特号小粒8個/株30日毎）

省力：4月：エコロング413-140日 10g/株 6月：IBS1 4g/株

☆親株の灌水：頭上灌水は止め、株元に灌水できるよう点滴灌水に切り替える。

5月中下旬からランナーを残し6月上旬からのポット受けを目指す。

◎ 紙ポット育苗の注意点 <定植の手間は掛かりますが育苗期が高温の年に効果を発揮します。>

①育苗日数が無い場合ランナー先端苗では効果が出ない場合があるので育苗日数を十分確保する。

②夏季時のハウス内は気温が高すぎて効果が発揮しにくい場合があるので換気を良くし、場合によっては遮光資材を併用する。

紙ポットの側4面から水分が蒸散できるように配置する。

③特に花芽誘導期の8月15日以降は紙ポットを乾燥させないように注意する。

ポット受け時期は6月中～7月中に行うようにする。

【親株防除体系】 親株定植時より栽培履歴に記帳をお願いします。

散布時期	農薬名	回数	濃度	対象病害
4月下旬	ジマンダイセン（水）	1/6	600倍	炭疽病
5月上旬	ベルコート（水）	1/5	1,000倍	炭疽病、うどんこ病
中旬	キノンドー（フ）	1/3	500倍	炭疽病
下旬	ファンタジスタ顆粒水和剤	1/3	2,000倍	炭疽病、灰かび
6月上旬	劇デラン（フ）	1/2	1,000倍	炭疽病
中旬	オーソサイド80（水）	1/3	800倍	炭疽病、灰かび、芽枯れ
下旬	アントラコール（顆粒）	1/6	500倍	炭疽病

害虫発生時適時：殺菌剤と混用可能な剤を散布

ハダニ・チャノホコリダニ：コロマイト水和剤 2,000倍

アザミウマ類：スピノエース顆粒水和剤 5,000倍（ハチ3日）、マツチ乳剤 2,000倍

※劇ハチハチフロアブル1,000倍（アブラムシ類、うどんこ病）

※ミツバチ（5日）、天敵（14日）に影響があるため、収穫終了前の使用をおすすめします。

☆定植時、特にチャノホコリダニ等を本圃に持ち込まないようにダニ剤も散布しておく必要有り

<<病気に打ち勝つ育苗資材の提案>> 親株葉面散布 10日間隔で2回程度

親株定植直後 トップハーベスト（酵母、乳酸、納豆菌）500倍 病原菌抑制

三種混合 ケイ太君（海藻由来の珪酸を主としたミネラルを含んだ資材）5,000倍

福鷹（ニームオイル、大豆レスチン）1,000倍 カルシウム補給 展着促進

《水稲》 種子消毒

塩水選：10a当り 種籾4kgを用意する。

うるち米 比重1.10（塩1.6kg または 硫安2.0kg/水10L当り）

もち米 比重1.06（塩0.9kg または 硫安1.1kg/水10L当り）

☆病害予防の為、必ず実施お願いします。ここで病気の籾を除去します。

水洗い 沈んだ種籾を水洗いして用いる。（発芽不良にならないように丁寧に洗浄）

水を切り目の粗い網袋などに詰める。但し、網袋詰めは7分目程度とし余裕を

もたせ、薬液が種籾一粒一粒に浸漬しやすいようにする。

薬液浸漬（ばか苗病、もみ枯細菌病及び心枯線虫を同時防除する）

ばか苗病	テクリードCフロアブル	100ml/水20l (200倍)	混用
籾枯細菌病			
心枯線虫 (ほたるいもち)	スミチオン乳剤	20ml/水20l (1,000倍)	

※袋に余裕のあるように籾を入れ浸漬はじめ、薬液中で袋をよくゆする。

※24時間浸漬する。

水中浸漬 薬液中から取り出した種籾は水洗いせず、そのまま種籾の倍量の清水に

3～4日静置浸種する。涼しい場所で浸種し、この間攪拌はしない。

《野菜苗定植用粒剤》 ※使用の際は登録の有無を必ず確認の上ご使用ください。

対象害虫	薬剤	施用量	施用方法
アブラムシ スリップス コナジラミ	アドマイヤー1粒剤 ベストガード粒剤	1～2g/株	植穴土壌混和

《さやえんどう》（キヌサヤ・スナック）

うどんこ病	トリフミン水和剤	5,000倍	収穫前日まで	5回
ナモグリバエ	劇パダンSG水溶剤	1,500倍	収穫前日まで	3回

《たまねぎ》

白色疫病	リドミルゴールドMZ	1,000倍	収穫7日前まで	3回
べと病	ランマンフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	4回

《アスパラガス》

現在、環境や年数の関係で、アスパラ部会でも立茎が始まりました。

また、先日SBSラジオにてJA静岡市のアスパラを紹介させていただきました！

普段、立茎は5月に入ってからですが、2年目の株や、収穫して疲れ始めた株（曲がり、小さいうちから先が開く

などについては早めに立茎をし、夏芽をメインに収穫をしてください。

他にも、乾燥で芽が曲がったりするので、水分管理に注意が必要です。

まだ寒くなる可能性がある場合は、ハウスの開閉やトンネルで保温してあげると良いでしょう。

5月中旬までには10cm間隔で、太さ1cm程度のものを立茎させてください。（5本前後/株）

《柑橘》

本年は気象状況により、例年より生育が早い状況にあります。防除等、適期を逃さないように心掛けて下さい。
また、本年はカメムシ類の越冬が非常に多いため、園地での発生に十分注意が必要です。昨年は着花量が多かったものの、生理落果により着果量が少なくなったため、本年も着花量が多い事が予想されますので、花と新葉の養分競合が考えられますので、着花量が多い園地では花肥の施用をしましょう。(ダブルクイックS550 1～2袋/10a)

●温州ミカン

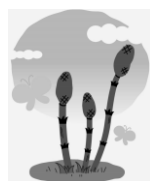
防除時期	対象病虫害	農薬名	希釈倍率	使用基準
3分咲き期	灰色カビ病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	7日-3回
	アザミウマ類	マッチ乳剤 または スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	14日-3回 前日-3回
落弁期	チャノホコリダニ チャノキイロアザミウマ	劇コテツフロアブル	4,000倍	前日-2回
	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回

※新葉緑化と着果安定のために3分咲き時に尿素500倍とリンクエース1,000倍を混用散布。

落弁期には尿素500倍と結晶粒マグ500倍を混用すると効果が高まる。

●中晩柑

防除時期	対象病虫害	農薬名	希釈倍率	使用基準
満開期	灰色カビ病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	45日-2回
	アザミウマ類	マッチ乳剤 または スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	21日-1回 前日-3回
5月下旬	チャノキイロアザミウマ	劇コテツフロアブル	4,000倍	前日-2回
	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回



●落葉果樹

対象作物	防除時期	対象病虫害	農薬名	希釈倍率	使用基準
いちじく	5月上旬	疫病	Zボルドー クレフノン 加用	1,000倍 200倍	—
ハウスいちじく	5月下旬	カンザワハダニ	マイトコーネF	1,000倍	前日-1回
柿	5月上旬	落葉病・黒星病 うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-3回
	5月中旬	チャノキイロアザミウマ	劇コテツフロアブル	2,000倍	14日-2回
	5月下旬	落葉病・灰色かび病 うどんこ病	ストロビーDF	3,000倍	14日-3回
梅	5月上旬	黒星病	ストロビーDF	3,000倍	7日-3回
	5月中旬		インダーフロアブル	5,000倍	前日-2回
	発生時	カメムシ類	テルスターフロアブル	3,000倍	前日-2回